



# 四日市看護医療大学 同窓会会報

令和3年10月1日発行

四日市看護医療大学同窓会事務局

Yokkaichi Nursing and Medical Care University

Vol. 9

## ごあいさつ

四日市看護医療大学同窓会会長 平成23年度卒業 葛谷 直樹

秋冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様、お元気で過ごしてでしょうか？

8月は雨が降り続け、記録的豪雨も記録いたしました。そして、新型コロナウイルスは各地で猛威を振るい、終息も見えないような状況です。その中で医療従事者として現場で働いている同窓生や様々な立場で関わっている同窓生の皆様、本当にお疲れ様です。ご自身のお身体にも十分にお気をつけください。

さて、昨今の同窓会活動ですが新型コロナウイルスにより、昨年同様に思うように活動ができない状況です。同窓会役員会におきましては、本年度の定例の役員会はリモートで行い、総会も中止といたしました。一方で、役員一同、定期的に意見交換を行い、予算の運営方法を模索し、大学との連携もとりながら、同窓生で集まれる日のために日々取り組んでおります。また、本年度からは同窓生が主体となり同窓会運営を行うことになりました。事務局の担当も同窓生が行っております。

このような状況ではありますが、同窓会活動が行えない中でもどうか同窓生に還元していきたいという思いで役員で話し合った結果、同窓生の多くが従事されている三重県（「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」）と愛知県（「新型コロナウイルス感染症対策：愛知県医療従事者応援金」）にそれぞれ昨年同様に寄付金をさせていただく予定です。

最後になりますが、同窓生の皆さん、くれぐれもお身体に気をつけて、心身ともに疲弊しているときは同窓生同士や身近な仲間を頼り、この状況を皆で乗り切っていきましょう！その際は、ぜひ同窓会も頼ってください！

同窓生のみなさんが心身における健康にご留意されることを同窓会役員一同、切に願っております。

また何かご相談事等ございましたら同窓会にご意見ください。何卒よろしく願いいたします。





# 大学の現況

看護学科 学科長 柿原 加代子

## コロナ禍にあり2年目を迎えています

路上芸術家バンクシーが、医療従事者を“ヒーロー”として描いた絵、“子どもがマスクにマント姿の看護師の人形で遊んでいます”。子どもたちの“ヒーロー”が変わった様子を描いています。

コロナ禍において、臨床の場で活躍する医療従事者の使命感、勇気ある活動が世界中の人々から称賛されています。今まさに、卒業生の皆様は、人々の生命を守り、人々の幸せを守り、人々に称賛され、感謝される専門職種として、命がけで奮闘をされていることをとても誇らしく思います。

そんな卒業生の皆様に負けないように、看護学科は、昨年からの構築してきた新型コロナウイルス感染症対策に基づき、感染リスクを軽減し、教育効果を最大限に考慮し教育に奮闘しています。今年度4月に感染対策を徹底して新入生入学式と新2年生入学式を開催しました。また、対面・遠隔授業をミックスし、IT教材を駆使するなど、従来の授業に劣らない教育に努めております。臨地実習は、今年度の統合実習は学内実習となりましたが、最大限に看護実践力を修得できる学内実習を模索しながら実習展開しました。

自然災害やウイルス災害禍のなかではありますが、卒業生の皆様は臨地で、看護学科教員は教育の場で、**ひと・社会・未来とつながる力**を最大限に発揮し、**希望が持てる未来**を切り開いていきましょう。

# 大学院の紹介

研究科長 萩 典子

卒業生の皆様、こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。8月に看護協会の指導者研修で、卒業生にばったり出会い、現在は実地指導者として奮闘していること、また2児の父親であることを知り、大変嬉しく思いました。

早いもので、本学大学院は10年目にはいりました。想像もしなかったコロナ禍で、いろいろな思いで過ごされていることでしょうか。制約は多くとも、私たちの思考を妨げることはありません。様々な経験を重ねる中で立ち止まり周囲を見回すとまた別の景色が見えてきます。また一緒に大学院で学び、考えてみませんか。大学院では、皆様を歓迎いたします。働きながら、また子育てしながらでも、自宅から遠隔授業や研究指導を受けることも可能です。興味がありましたら、ぜひ連絡いただきますようお願いいたします。

## 看護医療学部看護学科

### 新任教員

令和3年4月

柴田英治 教授 (理事 兼 学長 兼 地域研究機構長)

大谷喜美江 准教授 (地域)

伊藤愛子 助手

澤木美貴 助手

山口蒔 助手

### 退任教職員

令和3年3月

丸山康人 教授 (理事 兼 学長 兼 地域研究機構長)

水野正延 教授 (副学長 兼 教育推進学生支援センター長 兼 地域研究機構看護医療交流センター長)

伊藤薫 准教授 (地域)

杉本七海 助手

小谷雅彦 (会計課)

卒業生の皆様、こんにちは。卒業生サポートプロジェクトです。

このプロジェクトでは、これまで技術演習会（点滴静脈注射・静脈採血の技術）と交流会を行ってきました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大によって活動が行えませんでした。

そこで、今年度は初の試みとしてオンライン交流会を開催しました。卒業生と教職員十数名の参加でしたが、卒業生からは参加してよかったという声をいただきました。今回参加できなかった方からは、開催時間の問題や大人数での交流会で参加しづらかったという声があり、今後はこれらの課題を踏まえて企画していきたいと考えております。我々にサポートできることがありましたらいつでもお声掛けください。医療に従事している皆さんはとても過酷な状況で働いていると思います。お身体を大切にしてください。

戻ってきた

# 卒業生!

こんな質問  
してみました

- Q1 卒後のキャリアについてお聞かせください。
- Q2 大学に戻ってきた経緯をお聞かせください。
- Q3 戻ってきたの率直な感想についてお聞かせください。
- Q4 これからの目標などをお聞かせください。

平成22年度卒業

山口 蒔 (助手)

Q1>A

市立四日市病院に就職。  
助産師約10年（4ヵ月だけ他病院に浮気した時期もありますが）。

Q2>A

病院を辞めると決めた時に、大学時代にお世話になった先生に誘っていただいたのがきっかけです。

Q3>A

懐かしい…。みんな(学生さん)若い!!  
知ってる先生方、変わってない!

Q4>A

学生さんともっと打ち解けられるようになりたい。図書館の本を制覇したい。先生と呼ばれる立場になったので、自分の意見をちゃんとと言えるようになりたい(今までふわふわ〜と生きてきたので)。

平成22年度卒業

澤木 美貴 (助手)

Q1>A

血液内科病棟で看護師として8年、国民健康保険組合の保健師として約1年半。

Q2>A

四日市に引っ越し自宅から通える距離であり、定時で帰れるかなあと思ったから(笑)

Q3>A

食堂にコンビニができていて!が、小ささ(笑)ヤマザキショップ!でも嬉しい!大学の中は、物品等の配置が少し変わっているけど、特に変わらんなあ。ロッカーって指紋認証やつたっけ!? 覚えてないけど、すごい(笑)大学の建物自体に「四日市看護医療大学」の文字がついている!初期はなかったよな!?

Q4>A

初めてのことで右往左往していますが、たくさん笑って楽しく業務に励みたいです!まず、1人でも多く学生の名前を覚えます!

平成23年度卒業

松尾 あゆみ(保健担当)

Q1>A

保健師として、市町村の保健センターや県の保健所で働いていました。

Q2>A

学校保健に興味があり、本学の卒業生として貢献したいと思いました。

Q3>A

在学中にお世話になった先生方に声をかけてもらい嬉しかったですし、ほっとしました。学内の設備が増えていることに驚きましたが、教室や実習室は当時のままでアットホームな感じとも思いました。

Q4>A

学生さんと交流する機会を大切にしたい、学生さんから身近で相談しやすい職員(保健担当)になりたいと思います。



## 同窓生メッセージ

### 鈴木 翔太 (平成23年度卒業)

現在、私は静岡県立総合病院のICU/CCUに勤務して10年目となります。この10年間の中で、クリティカルケア看護を学び、日々患者さんに良い医療・看護が提供できるよう努力してきました。また、病棟業務だけでなく、補助人工心臓管理の資格を取得し、日々病棟外でも活躍したり、臨床での看護研究を行い、多忙の日々を送っています。

現在、COVID-19も静岡でも拡大がみられており、重症患者も多くなってきましたが、多職種と連携しながら、日々患者さんの治療を行い良い医療を提供しています。

感染拡大に伴う行動の制限など、当たり前の日常が送れずストレスフルな状態が続いていると思います。その中でも今できることを模索し、今後も努力していきたいと考えています。静岡は気候としても過ごしやすく、観光スポットも多いので、COVID-19が終息した際はぜひお越しください。

### 國武 由依 (平成30年度卒業)

私は、津市役所健康福祉部健康づくり課の芸濃保健センターで保健師として勤務をしています。予防接種に関する医療機関との調整等を行う予防衛生事業担当としての業務を行いながら、母子から高齢者まであらゆる世代を対象に訪問や電話相談、教室等の保健センター業務を行なっています。また新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナワクチンに関する業務等、通常業務以外の内容も行なっています。子どもの発達や福祉サービス等、大学で学んだこと以上の知識を使って相談対応を行うこともあり、知識不足を痛感し、勉強する毎日です。対象の方を必要なサービスに繋げていく中で他職種と関わる事が多く、その度に専門性に応じた助言をいただけるので、とても勉強になります。窓口や電話越しに涙され相談される方や関わりを拒否される方まで様々ですが、今後も一人ひとり丁寧に対応し、安心して相談していただけるような保健師になりたいです。

### 浅野 雄大 (令和2年度卒業)

私は現在、腎臓病総合医療センターという、主に腎臓移植や人工透析、腎臓病教育を行うことを専門とした病棟で勤務しています。また、内分泌外科、形成外科も病棟で兼務しているため、移植手術やシャント造設手術等の腎疾患に関する手術だけでなく、甲状腺・副甲状腺摘出手術や形成外科手術など、さまざまな疾患の術前後を看護することが多いです。各疾患や手術方法によって術前準備や術後経過・指導が異なることから、自分自身が疾患や手術について深く理解していないと適切な看護・指導を行うことができないため、日々知識・技術のアップデートをしながら従事しています。また、腎疾患は血液検査データが重要になるため、多い時には10回以上採血を行うことがあります。初めて実施したときはとても緊張しましたが、患者様に「痛くなかった」と言ってくれたときは安心したとともに、その技術を常に発揮できるよう自己研鑽していかなければならないと自覚することができました。

## 決算報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	費目	決算	摘要
収入の部	前年度繰越金	18,590,458	前年度より
	会費収入	3,390,000	同窓会費113名分
	雑収入	160	貯金利息
	合計	21,980,618	

	費目	決算	摘要
支出の部	会費	57,050	晩学園連合同窓会会費R2卒業生113名分
	同窓会会報費	338,633	印刷関係(会報印刷・葉書・封筒)・送付代
	卒業記念品費	174,720	R2卒業生記念品113名分
	母校応援費	330,550	正門移動式看板
	事務運営費用	3,916	USB事務用品等
	ホームページ運営費	199,760	ホームページ作成・管理
	予備費	200,000	新型コロナウイルス応援寄付金(愛知、三重)
	小計	1,304,629	
	次年度繰越金	20,675,989	
	合計	21,980,618	

## 同窓会役員

会長	葛谷 直樹 (平成23年度卒業)
副会長	近藤あおい (平成22年度卒業)
〃	北森 史佳 (平成24年度卒業)
理事(書記)	達 晴香 (平成26年度卒業)
〃	山平 佳奈 (平成28年度卒業)
理事(会計)	下田 楓子 (平成29年度卒業)
〃	塩見 敦哉 (平成30年度卒業)
理事(監査)	伊藤 愛美 (平成25年度卒業)
〃	福持 愛佳 (平成25年度卒業)
理事(事務局)	寺尾 亮平 (平成23年度卒業)
理事	山門 美結 (平成28年度卒業)
〃	石井 優 (令和元年度卒業)
〃	松浦 美月 (令和2年度卒業)

## 編集後記

10月に入り、少しずつ秋を感じるようになって参りました。同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。昨年同様に、コロナ禍で医療に従事されている皆様の多くは大変な毎日をお過ごしのことと存じます。また在学中の学生においても、大学祭の中止が決まりました。

一方で、同窓会活動につきまして開学から昨年度まで全面的な支援を受け同窓会活動を行って参りましたが、本年度より、同窓会役員のみでの活動がスタートとなりました。役員一同、今後とも、活動内容について皆様のご意見を取り入れながら進んで参りたいと思っております。同窓会に関しましてご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、以前ご案内した通り同窓会のホームページを開設しておりますのでぜひご覧ください (<http://y-dousoukai.com/>)。また、住所変更の用紙を同窓会会報に同封させていただきます。住所を変更される方は是非ご協力をお願い致します。なお、同窓会ホームページからでも変更届は可能です。

同窓会理事(事務局) 寺尾亮平 (平成23年度卒業)